

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp



協力して食事作り。手を切らないようにね

7月31日から8月3日までの3泊4日で、夏休み小学生生活体験合宿を行いました。この合宿は、集団生活を通して、友達と協力して支え合う、規則正しい生活を身に付ける、家族の大切さに気付く、日野町のことをもっと好きになることを目的に開催しています。

今年は、根雨小学校・黒坂小学校の3年生から5年生まで14人の子どもたちが参加し

て、公民館で宿泊しながら屋外での体験活動を行いました。まず、1日目は、川の生き物観察。川に入り、魚や昆虫などを探しました。日ごと見ることもない生き物について学習できました。2日目は、ラフティングやバーベキューをしました。期間中は、慶応義塾大学の学生が来町。一緒に交流会を行い、日野川の自然や色々な人に触れ合った1日となりました。3日目は、公民館から鵜の池まで歩いて行き、飯ごう炊飯を体験してみんなでカレーを作って食べました。苦戦しながら火をたくなど協力する姿が見られました。その日の夜は、公民館駐車場で星空観察会も行いました。



慶応義塾大学の学生と交流



飯ごうを使ってご飯を炊くよ

て、ひと回りたくましくなっ
たようでした。



生き物さがし。何がとれたかな



ラフティングを体験。川から見る景色は最高～

食事づくり、自然の中での体験活動！ひと回り成長した夏
■夏休み小学生生活体験合宿 開催

鳥取砂丘に白兔海岸、山陰海岸ジオパークは見どころ満載

■第4回おしどり学園 開催



ジオパークについて詳しく説明する安藤さん

8月17日、平成24年度第4回おしどり学園を開きました。今回の一般教養講座は、「山陰海岸ジオパークとその活用」と題して、鳥取県文化観光局観光政策課山陰海岸ジオパーク推進室専門員の安藤和也さんが話されました。

まず、安藤さんは言葉の意味として「ジオパークという言葉の方をする以前は、当初、地質公園と言われていた。地

質公園という言い方では本来の意味をあらわさないため、今のジオパークという言い方になった。ジオパークとは、ジオII大地・地質、パークII公園という意味になる」と説明しました。

さらに「現在、日本には20のジオパークがある。そのうち、世界に認められているものは5つあり、山陰海岸もそのうちのひとつである。鳥根県の隠岐は秋にはジオパークになる予定で、ジオパークを指している所も入れると、40近い数字となる。この数字は、世界遺産よりも多い」と熱く話します。

世界遺産とジオパークとの違いについては「世界遺産はユネスコから正式に認定されたものであり、世界ジオパークは、ユネスコが支援する活動である事が大きな違いである。また、世界遺産は、世界遺産条約で保護されている

が、世界ジオパークは主に教育や観光資源など、暮らしや文化の発展に活用することが求められており、主に日本国内の法律で守られている」と安藤さんは説明しました。

そして、この山陰海岸ジオパークの特徴について「東京都と同じくらいの面積がある。エリアとしては、京都府の経ヶ岬^{きょうがさき}から鳥取市白兔海岸まであり、東西110キロ、南北最大30キロ(3府県3市3町)におよびます。主な見どころとしては、知名度が日本一の鳥取砂丘、湖山池、神話『因幡の白うさぎ』の里として有名な白兔海岸など、多くの見どころがあり、観光資源としても有効に活用されている」とのこと。

講演を聞いた学園生は、9月のおしどり学園町外研修で行くジオパークについて、しっかり事前学習を深めました。

▼出前公民館開催報告

8月22日に根雨2区、8月31日に真住地区で映画会を開きました。根雨2区では、「男はつらいよ寅次郎の告白」を、真住地区では「険の母」を上映。映画館さながらの大画面で鑑賞する懐かしい映画に、参加者はとても感動していました。

参加者からは、「面白かった。また、やってほしい」と言った声が多く聞かれました。



映画って楽しいね～

《次回のおしどり学園》

10月19日(金) 午前9時30分

演題 「高齢者は狙われている」

講師・特定非営利法人コンシューマーズ

サポート鳥取 消費生活専門相談員

佐藤 亜紀子さん